



はくさんだより

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.39

2025年3月発行

白山市多文化共生デー 「日本人も外国人も防災について考えよう！」



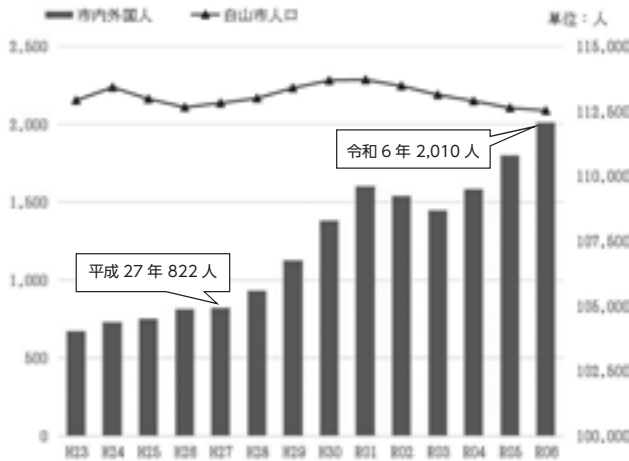
▲講演会講師の(一財)ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏

白山市に住む外国人は令和6年12月末で2,010人と過去最高を更新し、その国籍も年々多様化しています。災害時に様々な文化や価値観を持つ人同士が助け合っていくことが、ますます重要となっています。

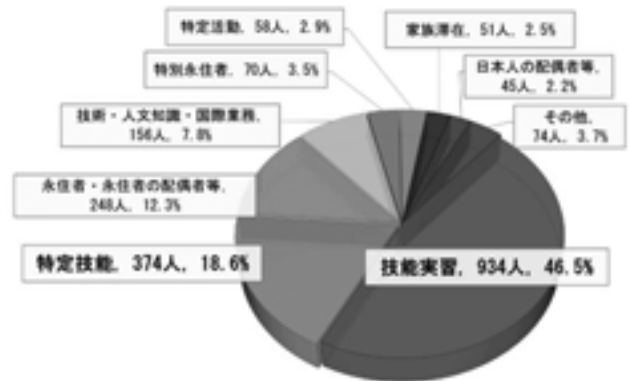
昨年11月30日(土)に松任学習センタープララにおいて「白山市多文化共生デー」と題し、「白山市多文化共生啓発講演会」と「はくさん多文化防災ワークショップ」を開催しました。講演会やワークショップを通して、参加者1人ひとりが、国籍に関係なく「誰ひとり取り残さない防災」について考える機会となりました。

白山市の外国人住民数の現況 (令和6年12月末時点)

【市の人口と外国人住民数の推移】



【在留資格別構成比】



C・O・N・T・E・N・T・S

- 特集 「白山市多文化共生デー」 1 ~ 2
- HIA トピック ペンリス市高校生ホームステイ交流 3
- 国際交流サロンのページ 4 ~ 6
- HIA だより 7
- HIA からのお知らせ 8

白山市の外国人住民数は、この10年で約2.5倍増加しています。その6割以上が工場等で働く技能実習と特定技能の在留資格を持つ外国人となっています。20代~30代の若い世代が多いことから、今後、災害発生時に地域の担い手となることが期待されます。



(一財) ダイバーシティ研究所代表理事
田村 太郎 氏

兵庫県伊丹市生まれ。阪神・淡路大震災での外国人被災者支援を機に「多文化共生センター」を設立。ダイバーシティ研究所は能登半島地震の被災地でも支援活動を行っている。「白山市多文化共生デー」では、講演会講師に加え、ワークショップのファシリテーターも務めていただいた。

【田村太郎先生 講演会要旨】

- 出身国によって**ストック情報（これまでの教育・訓練などで蓄積された情報）に違いがある**。地震が無い国の人は、発災時にどこに行けばよいか、どのような行動をすればよいか分からない。その違いを理解して支援する必要がある。
- 災害情報の多言語化は、外国人へ「情報」を届けるだけでなく、「**安心感**」も与えることができる。さらに、日本人も外国人被災者の存在を認識することになり、**地域全体の安心感**を作ることができる。
- 必要な情報提供や研修を受ければ、**外国人住民も災害時の担い手になる**。日頃から、お互いに相談できる関係づくりや外国人とともに災害対応を行うことで、みんなが安心できる地域づくりを目指してほしい。



外国人ミニスピーチ大会

「白山市多文化共生デー」では、講演会の前に「外国人ミニスピーチ大会」を開催しました。発表者の二人はとても流ちょうな日本語で自分の想いを伝え、会場からは大きな拍手が送られました。



グエン・トゥイ・ズンさん(ベトナム出身)

スピーチのタイトルは「**ベトナム人の名前の説明**」。ベトナムでは「グエン」という名字が一般的で、40%近い人が「グエン」という姓を持っているそうです。ズンさんは「グエン」という名前から生じた日本での体験を紹介し、同じ名前のベトナム人だからといって偏見を持たず、その人の個性や文化を知ることが大切だと伝えてくれました。

ニコラス・バーグホルムさん(アメリカ出身)

スピーチのタイトルは「**一緒に頑張ろう**」。ニコラスさんは能登半島地震が発生したとき穴水町のALTをしており、外国人被災者としてここにいていいのかと悩んだことや、それでも石川に残りたいと強く思ったことを話してくれました。避難所で学校の生徒とご飯を食べたり、「一緒に頑張ろうね」と声をかけてもらったりしたことで、繋がりを感じたそうです。



「はくさん多文化防災ワークショップ」

「はくさん多文化防災ワークショップ」では、34名の日本人・外国人住民が参加し、段ボールベッド設営などの避難所体験とグループトークを行いました。参加者からは、「いろんな国籍の人と共に防災について学べて有意義だった」、「地震に関する知識を増やして、安全に気を配りたい(中国人参加者)」といった感想が聞かれました。



▲避難所のパーティションと段ボールベッド作り体験。実際に寝てみた外国人住民は「思ったよりしっかりしている」と驚いていました。組み立ても片付けも、みんなで協力することでスムーズに行うことができました。

▼グループごとに能登半島地震の感想や、これからの地域の防災について話しあい、発表しました。どのグループも能登半島地震の話でほとんどの時間を使っていましたが、当時の体験をみんなで共有できた貴重な機会となりました。



特集

豪州ペンリス市高校生ホームステイ交流受入事業

10月2日(水)から11日(金)までの10日間、親善友好都市のオーストラリア・ペンリス市から高校生12名と引率者2名が来市し、昨年ペンリス市を訪問した市内生徒の家庭でホームステイを行いました。滞在中は、市内の高校訪問で生徒たちと交流したり、日本文化体験や山ろく体験を行ったりし、交流を深めました。

金沢視察



▲金沢城と兼六園を視察。ガイドさんの話を真剣に聴くペンリス市生徒。

対面式



▲対面式で1年ぶりの再会!これから約2週間のホームステイが始まります。

市長表敬



▲ペンリス市生徒たちは、練習した日本語で出席者の皆さんに自己紹介をしました。

いしかわこども園訪問



▲園児は英語で挨拶し、歓迎してくれました。お礼にペンリス市生徒から、オーストラリアの子供向けの歌を披露しました。

日本語講座



▲英語サークル「しゃべらんど」さんから日本語や日本文化を教えてもらいました。



▲日本語部会の皆さんとペンリス市のことや日本での体験について話し合い、最後はグループで発表をしました。

鶴来高校訪問



▲柔道部による豪快な技の披露に、ペンリス市生徒たちは大盛り上がり!書道や折り紙も体験し、白山市の高校生と楽しい思い出を作りました。

和太鼓体験



▲浅野太鼓で、和太鼓体験をしました。後半になるにつれて、みんなで息をそろえて太鼓をたたくことができました。

交流パーティー



▲白山市生徒はクイズを、ペンリス市生徒はオーストラリアについてプレゼンテーションを発表し、会場を盛り上げました。

日本文化体験



▲白山市国際交流協会のボランティアの皆さんにご協力いただき、松任ふるさと館にて、着物で茶道体験を行いました。

キッズの森で自然体験



▲「加賀はくさんようござった」と河内できのご狩りをしました。白山ろくの大自然の中、日本の里山再生活動について学びました。

お別れ



▲最終日には、抱き合って別れを惜しみました。また会える日まで...

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
 休館日 月曜日（月曜日が祝日でも休館）、祝日
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館ピーノ2階）
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP https://hia-salon.jp/

国際交流サロンのSNSでつながりましょう。
 LINE公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



最近の日本語クラス

現在の学習者は、15ヶ国35人と多国籍化しています。オンラインクラスは遠方の方が利用しています。コロナ禍前に比べて、サロンでの学習者の数が減っているのは、インターネットで日本語が勉強できるようになったことが要因の一つです。自分にあった学習スタイルで勉強ができ、便利になりました。

先日、来館したベトナムのNさんは、日本語ができないから仕事が大変と困っている様子。ゆっくり話してみると、ちゃんと話せます。会社では日本語がわからないから話さない、話しかけられないようです。サロンで話すことで、少し表情が明るくなって帰っていきました。オフライン（対面）の良さもあります。

中国やベトナム等旧正月を祝う東アジアの皆さんが多い日曜日クラスに、ベトナム人主婦のCさんからお正月には欠かせないゾータイ（豚の耳のハム）とバインチュン（ベトナムちまき）の差し入れがあり、皆さん、故郷の家族を思い出しながら味わっていました。サロンより母国のご家族へ『皆さん、遠い日本で頑張って働いていますよ！』



▲交流型日本語教室「わいわいカフェ」



▲ロータリクラブ留学生のクラス



▲中国籍小学生も参加する日曜日クラス

サロン新年交流会で親睦を深める

1月19日、協会の部会員との日本語学習者の皆さんが集まり、「サロン新年交流会」を開催しました。

会には、多くの参加者が集まり、福田会長の挨拶に始まり、昨年1年間の活動スライド上映、ゲーム交流等が行われました。特に盛り上がったのは、チーム対抗のジェスチャーゲームです。言葉を使わずに体を使って伝えることで、国籍を超えたコミュニケーションの楽しさを体験し、会場は笑いの渦に包まれました。最後に「虹」という曲をみんなで一緒に歌い、親睦を深めました。



▲チーム対抗ジェスチャーゲームで大盛り上がり

放課後児童クラブでインドネシア文化を紹介

1月25日、放課後児童クラブのピノキオクラブ（井口町）で、レオ・アグスチヌスさん夫妻ら3名が、インドネシアの伝統料理などを紹介しました。児童たちは、レオさんたちといっしょに野菜をカットし調理した「SAYUR SOP」（野菜スープ）とスパイスの効いた「アヤム・ゴレン」（鶏の唐揚げ）を試食しました。インドネシアに関するクイズも出され、異文化に触れる貴重な体験となりました。

外国文化サポーターの派遣依頼は、同サロンまでご相談ください。



▲インドネシアの野菜スープはどんな味？

サポーターインタビュー (協会で活動するサポーターさんを紹介するコーナーです)

川畑 康子さん
(日本文化サポーター)



Q 県国際交流功労者表彰受賞おめでとうございます。国際交流サロンで2004年から20年間、外国人住民にお箏を教えて来られましたが、振り返っていかがですか。

当時、市役所からお声をかけていただき、外国籍の方に教えるというのは初めての経験でしたが、日本文化を紹介するお手伝いできればと月1回のペースで始めました。20年間で教えた外国人は、実人数にすると53人、延べ人数は960人と事務局の方にお聞きし、自分でも驚いています。最初は、言葉の問題があり不安でしたが、身振り手振りと言語だけで十分伝えることができ、音楽に国境はないと実感しました。また、外国人の皆さんは、一般的にとても明るくて前向きな方が多く、こちらが元気をもらっています。

Q 印象に残っている生徒さんについて教えてください。

アメリカ人男性で身体が大きいですが、とても繊細でとにかく性格のやさしいCさんは上達が速かったです。素直で真摯に聞く耳を持つことが大切です。また、外国語指導助手 (ALT) のKさんは、サロン以外の私の教室でもお稽古をされ、白山市での赴任中に初伝の免状も取得されました。また、市の音楽祭などの演奏会にも積極的に出演し、私やお弟子さん達といっしょに合奏したことが思い出です。

Q 最後に、健康の秘訣を教えてください。

ほとんど毎日お箏を弾いています。真剣にお箏に向かったり、お弟子さんたちとお話したり、笑ったりして、大好きなお箏を楽しくお稽古していることが健康の秘訣かなと思います。あとは、もう5年以上になりますが、NHKの朝のテレビ体操をほぼ毎日欠かさず続けています。

トピックス

フードドライブー外国人に生活用品の寄贈

11月2日、白山商工会議所女性会の田中和子会長が同サロンを訪れ、女性会会員からフードドライブ事業で寄付された食料品や飲料、菓子、洗剤等の生活用品のセット30袋を寄贈していただきました。贈られた生活用品は、日本語クラスに来館した外国人実習生等に配布させていただきました。

同会からのご寄付はコロナ禍の2021年から毎年行われています。ご厚志ありがとうございます。

二木副会長とお箏指導の川畑サポーターが県国際化貢献で表彰

今年度の県国際交流・協力功労者表彰に、白山市誕生時の平成17年から当協会の理事、監事、副会長の役員を歴任され、留学生のホストファミリーとしてもご協力いただいている二木喜則副会長と国際交流サロンで20年間に渡り、ボランティアでお箏を指導されている日本文化サポーターの川畑康子氏が受賞されました。お二方、受賞おめでとうございます。

◎主な部会事業ダイアリー

11月10日 一里野ノルディックウォーキング (写真左上)

11月17日 バドミントン交流会 (写真右上。写真は優勝チーム)

12月19日 日本語部会員研修「外国人就労者の現状について」
講師：NPO法人 YOU-I 代表 山田和夫氏 (写真左下)

1月10日 英語でイスヨガ
講師：プリシラ氏 (写真右下)

1月26日 英語カフェ
講師：ニコル国際交流員

他、毎月第2土曜日 ABCの会
毎月第3水曜日 ハローリトルワールド (ともに図書館での外国語絵本読み聞かせ) を開催



「はくさん国際交流まつり2024」 10月20日(日)開催

第2回目の今年度は規模を拡大し、サロンがある松任文化会館の2階～4階と別棟の多目的室を会場に行いました。国籍に関係なく、英語や多言語でお話する交流会や、外国人住民が自国を紹介する「国際理解講座」、中国のラジオ体操やヨガなどの多国籍文化体験ワークショップ、子ども対象の外国語絵本の読み聞かせやハロウィンパレードなど、サロンにかかわりのある外国人住民が主役となって開催し、終日、家族連れなどたくさんの方で賑わいました。お手伝いいただいた協会サポーターの皆さん、ご協力ありがとうございました。

多文化ワークショップ



▲おしゃべり交流会「わいわいカフェ」
ALTとの「英語編」と5ヶ国の人と話す
「多言語編」には多くの方が参加



▲民族衣装体験
バルーンアートのフォトスポットが大人
気！！



▲国際理解講座「ベトナム&ジンバブエ」
(左)ジンバブエ出身 アーノルドさん
(真ん中)ベトナム出身 ズンさん



▲外国人お茶サークル「あさがお会」による
お茶席



▲フィリピン&ネパールダンス
音楽に合わせてLet's Dance！



▲ALTたちによるハロウィン衣装に
会場也大盛り上がり

子供向けワークショップ



▲外国語絵本の読み聞かせ
フィリピン人ママたちが大活躍



▲ハロウィンデー
国際交流員、ALTたちと小学生の仮装パレード
ゆきママとしずくちゃんも参加♪



▲バルーンアート体験
曲げて、ねじって、刀作りに挑戦！！

発表・演奏会・販売コーナー



▲英語で発信！白山手取川ユネスコ世界ジ
オパーク
小学生も英語でジオ発表！



▲外国人お箏サークルによる演奏
卒業演奏会となったオーストラリア出身
のトビーさん(左端)



▲外国の食べ物・お菓子・雑貨販売
終日賑わった販売コーナー

H.I.A. だより

Let's enjoy! 英語でクリスマス

12月8日

市内の小学4～6年生を対象とした、今回2回目となるクリスマスイベントを開催しました。外国語指導助手（ALT）や国際交流員が内容を企画し、簡単な英語を使って、クリスマスをテーマにした特別授業を行い、参加した44名の児童はクリスマスの文化に親しみました。

▶クラフトの授業のようす。グリッターやモールを使って、世界に一つだけの素敵なオーナメントができました。



▶「サンタさんの乗り物は？」や「クリスマスに飾るものは？」など、クリスマスについてのクイズに挑戦！



◀チョコレートペンやアイシングクリームを使って、ジンジャークッキーに思い思いのデコレーションする児童たち



◀クリスマス映画のキャラクター「グリンチ」にちなんだゲーム。村人役とグリンチ役に分かれて、プレゼントをたくさん取れるか競いました。

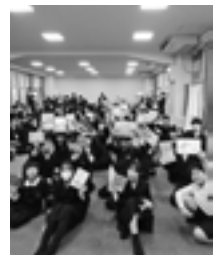
親善友好都市グリーティングカード交換事業 千代野小でカード渡し

1月23日

昨年夏に、千代野小学校の5・6年生143名と放課後児童クラブのピノキオクラブ・朝日しくクラブの児童23名が、海外の親善友好都市5都市の小学生に向けたグリーティングカードを作成し各都市に送ったところ、今年の1月までに244通の返事のカードが届きました。

カードには、英語や中国語で「友達になりましょう」や「いつか私たちのまちに来てください」といったメッセージが書かれており、カードを受け取った児童たちは海外の友だちからの心のこもったメッセージを先生たちに手伝ってもらいながら熱心に読んでいました。

▶左から、コロンビア市、ラウンハイム市、瀋陽市から届いたカード。カラフルで個性豊かなカードが届きました。



▲英語と中国語で「カードありがとう!」のメッセージ動画を作成。お礼とともに、各都市へ送りました。

友好都市ドイツ・ラウンハイム市前市長を偲ぶ～ラウンハイム市訪問寄稿文～

協会員である永井隆一さん、山口幸一さん（白峰）が、生前交流のあった故トーマス・ユーヘ前ラウンハイム市長の墓参のため、昨年10月にラウンハイム市を訪問されました。永井さんから届いた訪問の様子をご紹介します。

ラウンハイム市職員の送迎で空港からホテルに到着し、ホテル外でレンデル市長の個人的夕食会が催され、翌日は市役所を訪問しレンデル市長や故ユーヘ前市長の奥様を始め関係者と公式行事や昼食会があり、その中で白山市親書をお渡しいたしました。

その後、市長・前市長奥様御同行で前市長のお墓参りと周辺の観光をし、前市長の奥様や御嬢様も参加した夕食会を催していただきました。当初予定になかった伊藤御夫妻（ラウンハイム市在住の日本人御夫妻）の御招待参加などにもご配慮いただくなど、お陰様で大変良い交流ができたと思っています。

故ユーヘ市長は大変親しみやすい方でしたし、ドイツでも白山市でもいつも笑顔で接していただいたことは忘れられません。小学校低学年と思いますが、お嬢様には故ユーヘ市長の面影があり懐かしく思い出しました。10年前の訪問では、空港まで自ら運転をして送っていただき、抱き合ってお別れを致しました。我々同心から「もう一度、お元気なユーヘ市長にお目に掛りたかった」と思いながらの帰路でした。



▲故ユーヘ市長の墓前にて。（写真右・永井さん、中央・楠根重和 元石川県日独協会会長、左・山口さん）

H.I.A.からのお知らせ

令和6年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名 称
1	(株)あさがオテレビ
2	(株)浅野太鼓楽器店
3	石川情報交流事業協同組合
4	(株)EIZO
5	エス・ディ・エス(株)
6	(株)加藤建設
7	協和道路(株)
8	グランドホテル白山
9	弁護士法人 兼六法律事務所 白山事務所
10	(株)三光製作所
11	(株)車多酒造
12	(株)スノーエリアマネジメント白山
13	専門学校ファースト学園金沢校

No.	名 称
14	千代野建設(株)
15	(有)ツクダ自動車
16	鶴来商工会
17	鶴来ライオンズクラブ
18	手取川七ヶ用水土地改良区
19	トウエイ工業(株)
20	東武トップツアーズ(株)金沢支店
21	(株)トスマク・アイ
22	(株)永瀬商事
23	(株)西川電機工業所
24	ニッコー(株)
25	(株)日本旅行 金沢支店
26	能登印刷(株)

No.	名 称
27	白山石川ロータリークラブ
28	白山市北消防団
29	白山市スポーツ協会
30	白山市町会連合会
31	白山市日本中国友好協会
32	白山市文化協会
33	白山商工会
34	白山商工会議所
35	はくさん信用金庫松任店
36	白山ロータリークラブ
37	(株)羽田合金
38	ピッツェリア デジジオイア
39	(有)フジタ印刷

No.	名 称
40	北國観光(株)
41	松任市農業協同組合
42	松任ライオンズクラブ
43	(株)マップ
44	美川商工会
45	美川ライオンズクラブ
46	(株)メープルハウス
47	NPO 法人 YOU-I
48	(株)六星

以上48社(団体)

豪州ペンリス市ホームステイ交流 派遣高校生募集

親善友好都市のペンリス市でホームステイをしながらペンリスハイスクールに通学し、地元の高校生と交流しませんか?



対象: 白山市在住の現中学3年生と高校1年生
(派遣時高校1・2年生)

期間: 7月23日(水)~8月3日(日)11泊12日

費用: 約30万円(白山市国際交流協会より一部補助予定)

応募期間: 3月26日(水)~4月10日(木)

<応募説明会> (要申込)

日時: 3月25日(火) 19:00~20:00

会場: 松任文化会館ピーノ 401研修室

問い合わせ: 白山市国際交流室

白山市国際交流協会 会員・部会員 随時募集

当協会では、随時、新規会員及び部会員を募集しています。会員になると協会事業のご案内がメールで届くほか、事業参加費の割引特典があります。

部会員とは、事業の企画、運営をお手伝いいただく会員です。日本語・共生交流・通訳翻訳・国際理解・広報の各部会があります。年会費は、個人会員1,000円 特別会員(団体・企業)15,000円です。お申込・お問合せは国際交流サロンまで。



▲国際交流まつりでお手伝いする部会員

日本人&外国人子育てママ・パパ交流イベント 「くれよんカフェ」

未就園児親子を対象に、子育て中のママ・パパが、悩みの共有や情報交換ができる場として、2か月に一度、開催しています。外国の手遊び、外国語の絵本読み聞かせ等を通して交流しています。お申込は国際交流サロンまで。

イベント情報&お知らせ配信中!

サロンの公式LINE、またE-mail会員にご登録いただくと、楽しいイベント(世界の料理教室、国際理解講座など)のご案内や協会からのお知らせが届きます。

ぜひご登録ください!



【メール会員】

misalon@asagaotv.ne.jpへ、ご住所、お名前の明記と「E-mail登録希望」と書いて、送信ください。



【LINE友達追加】

こちらの二次元バーコードから追加できます



CIR(国際交流員)をご活用ください!

市民や市内の各種団体が取り組んでいる事業にアメリカ出身のニコル・ナビティー国際交流員を派遣します。



「異文化を理解するきっかけに」「外国人の視点が聞きたい」等、国際交流・異文化理解推進にご活用ください。

派遣申込みの詳細については市の国際交流室ホームページよりご覧になれます。(これまでの派遣先: 保育所、児童館、小学校、放課後児童クラブ、福祉施設、地域サロン等)

国際交流員ニコルのアメリカ通信

アメリカの季節のイベントを紹介しています。ぜひ右の二次元バーコードよりご覧ください!



編集後記

今年度は、はくさん国際交流まつりがパワーアップ! 松任文化会館を2~4階まで使って開催しました。部会の方々や協会の皆さん、また外国人住民の皆さんの協力が必要不可欠でしたが、皆さんと一致団結してまつりを成功させることができました。また、多文化共生デーは、田村太郎氏を講師としてお招きし、外国人と日本人と一緒に防災について考える貴重な機会となりました。(事務局)

発行 ■ 白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)

事務局 / 白山市役所観光文化スポーツ部国際交流室

TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546

E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp

白山市国際交流サロン

TEL・FAX 076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp